がん化学療法レジメン

第1版	改訂日	

登録日	H33.8.12	実施区分	□ 入院のみ ■ 入院及び外来	初回入院	■ 必要
レジメン番号	骨髄腫(MM)−022	診療科名	血液内科		
レジメン名	【皮下注】DKd療法				
レジメン補足	ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼアルファ＋カルフィルゾミブ＋デキサメタゾン				
がん腫など	再発又は難治性の多発性骨髄腫				

【1, 2コース目】

薬剤名	漏出	投与量	1 (週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラツムマブ (ダラキューロ)		1800mg	●							●							●							●						
カルフィルゾミブ (カイプロリス)	炎症	○：20mg/m²	○	○	※1コース目のみ					●	●						●	●												
		●：56mg/m²	●	●																										
デキサメタゾン (レナデックス)		40mg/週	●	●						●	●						●	●						●						

1コース期間	28 日	目標コース数	□有 （ コース ）	■無 （PDまで）
点滴時間	Day1, 2, 8, 9, 15, 16：45分			
注意事項など	infusion reaction予防のため、ダラツムマブ投与1～3時間前に副腎皮質ホルモンとアセトアミノフェン(650-1,000mg)、抗ヒスタミン剤を投与すること（モンテルカスト10mg経口投与も考慮する） （セット処方あり；入院注射オーダ→「セット」→「全科セット」→「血液内科用」→「ダラザレックス前投薬」） ★初回投与時は、輸血部(7204)に連絡すること			

Day 1, 8, 15

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	ルートキープ
②	5%ブドウ糖液	100mL	30分点滴
	注射用水	必要量	
	カルフィルゾミブ	56mg/m²	
	※1コース目のDay1は20mg/m² **※総輸液量を100mLに調製すること**		
②の投与終了後、①の残りの生食でフラッシュ			

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	ダラツムマブ	1800mg	皮下投与

※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与
※同一部位への反復注射は行わないこと

Day 2, 9, 16

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	ルートキープ
②	5%ブドウ糖液	100mL	30分点滴
	注射用水	必要量	
	カルフィルゾミブ	56mg/m²	
	※1コース目のDay2は20mg/m² **※総輸液量を100mLに調製すること**		
②の投与終了後、①の残りの生食でフラッシュ			

Day 22

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	ダラツムマブ	1800mg	皮下注

※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与
※同一部位への反復注射は行わないこと

【3～6コース目】

薬剤名	漏出	投与量	1 (週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラツムマブ (ダラキューロ)		1800mg	●														●													
カルフィルゾミブ (カイプロリス)	炎症	56mg/㎡	●	●						●	●						●	●												
デキサメタゾン (レナデックス)		40mg/週	●	●						●	●						●	●						●						

1コース期間	28 日	目標コース数	□有 （ コース ） ■無 （PDまで）
点滴時間	Day1, 2, 8, 9, 15, 16：45分		
注意事項など	infusion reaction予防のため、ダラツムマブ投与1～3時間前に副腎皮質ホルモンとアセトアミノフェン(650-1,000mg)、抗ヒスタミン剤を投与すること（モンテルカスト10mg経口投与も考慮する） （セット処方あり；入院注射オーダ→「セット」→「全科セット」→「血液内科用」→「ダラザレックス前投薬」）		

Day 1, 15

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	ルートキープ
②	5%ブドウ糖液	100mL	30分点滴
	注射用水	必要量	
	カルフィルゾミブ	56mg/m^2	
	※総輸液量を100mLに調製すること		
②の投与終了後、①の残りの生食でフラッシュ			

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	ダラツムマブ	1800mg	皮下注

※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与

※同一部位への反復注射は行わないこと

Day 2, 8, 9, 16

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	ルートキープ
②	5%ブドウ糖液	100mL	30分点滴
	注射用水	必要量	
	カルフィルゾミブ	56mg/m^2	
	※総輸液量を100mLに調製すること		
②の投与終了後、①の残りの生食でフラッシュ			

【7コース目以降】

薬剤名	漏出	投与量	1 (週)							2							3							4						
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ダラツムマブ (ダラキューロ)		1800mg	●																											
カルフィルゾミブ (カイプロリス)	炎症	56mg/㎡	●	●						●	●						●	●												
デキサメタゾン (レナデックス)		40mg/週	●	●						●	●						●	●						●						

1コース期間	28 日	目標コース数	□有 （ コース ） ■無 （PDまで）
点滴時間	Day1, 2, 8, 9, 15, 16：45分		
注意事項など	infusion reaction予防のため、ダラツムマブ投与1～3時間前に副腎皮質ホルモンとアセトアミノフェン(650-1,000mg)、抗ヒスタミン剤を投与すること（モンテルカスト10mg経口投与も考慮する） （セット処方あり；入院注射オーダー→「セット」→「全科セット」→「血液内科用」→「ダラザレックス前投薬」）		

Day 1

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	ルートキープ
②	5%ブドウ糖液	100mL	30分点滴
	注射用水	必要量	
	カルフィルゾミブ	56mg/m^2	
	※総輸液量を100mLに調製すること		
②の投与終了後、①の残りの生食でフラッシュ			

《皮下注》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	ダラツムマブ	1800mg	皮下注

※ダラキューロは臍から左または右に約7.5cmの腹部皮下に、約3～5分かけて投与

※同一部位への反復注射は行わないこと

Day 2, 8, 9, 15, 16

《メイン》

投与順序	投与薬剤名	投与量単位	点滴時間投与方法
①	生食	100mL	ルートキープ
②	5%ブドウ糖液	100mL	30分点滴
	注射用水	必要量	
	カルフィルゾミブ	56mg/m^2	
	※総輸液量を100mLに調製すること		
②の投与終了後、①の残りの生食でフラッシュ			